



防水

超高輝度 1w LED

乾電池式

LEDセンサーライト

1 安全に関するご注意

⚠ 警告

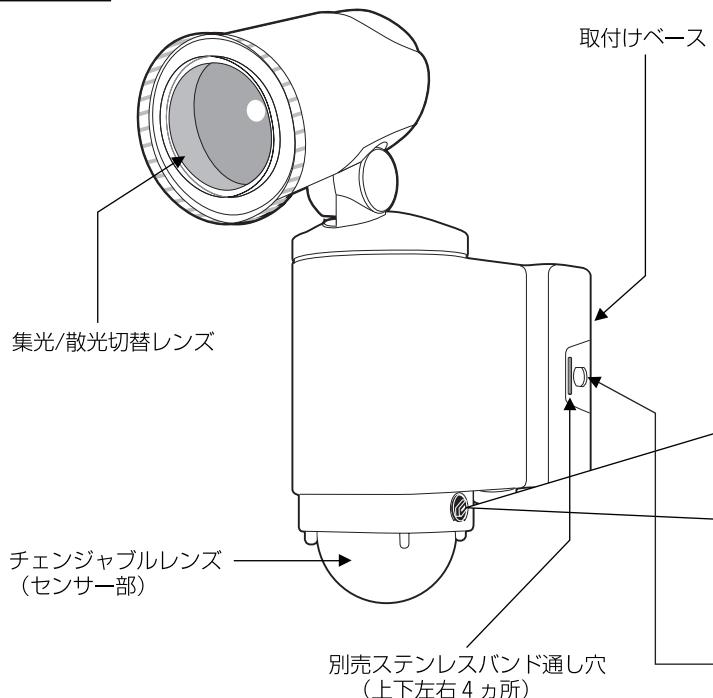
- 取付けは、この取扱説明書に従って確実におこなってください。
- 本機は防雨構造ですので通常の雨や風には耐えますが、防水タイプではありませんので大量の水がかかる場所や湿気の多い浴室などでは使用しないでください。
※防雨構造はIP-44電気機械器具の保護等級について認可を受けた規格です。
- 本体が地面に対して斜めになつたり逆さまになるような取付けをしないでください。
検知機能に異常をきたしたり、雨水が入り故障や漏電の原因となります。
万一落下しても事故の起こらない場所に取付けてください。
- 感電の恐れがありますので、乾電池を交換される際は濡れた手で本体に触れないでください。
また本体が雨などで濡れている場合も触れないでください。
(乾電池の交換は必ず本体のスイッチをOFFにしてからおこなってください。)
- 改造したり分解しないでください。故障や火災・感電・落下によるケガの原因となります。
またお客様による修理は危険ですから、お買い求めの販売店もしくは弊社までご相談ください。

⚠ 注意

- 本品は強盗、盗難、空巣等の被害を未然に防ぐことを保証するものではありません。
万一、被害などが発生しましたが弊社は一切の責任は負いかねますので予めご了承ください。
- 電池が液漏れ、破裂、発熱等する原因となりますので、下記の事にご注意ください。
 - ・電池の \oplus \ominus 方向を正しく入れてください。
 - ・新、旧および種類の異なる電池を混ぜて使用しないでください。
 - ・長期間ご使用にならない場合は電池を取りはずしてください。
 - ・電池の容量がなくなったまま長期間放置しないでください。
- 電動シャッター等の電波を利用する機器の近くには取付けないでください。
※本機や電波機器に動作の支障をきたすことがあります。
- 温度の高くなるもの（ガス機器やその排気口など）の上に取付けないでください。
- お手入れの際は、柔らかい布で乾拭きするか、薄めた中性洗剤を布に含ませ固く絞ってから拭いてください。ベンジンやアルコール、シンナーを使用されると変色、変形、ひび割れする恐れがあるので避けてください。
- LEDの交換はできません。
- 本品は改良のため、予告なく仕様変更する場合があります。
- 万一、当社の製造上の原因による品質不良、不具合が発生した場合は新しい商品とお取替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。

2 各部の名称と付属品

本体

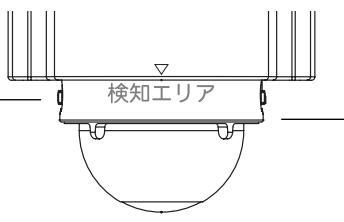


各部調整ツマミ

正面図

点灯開始照度 調整ツマミ

周囲が明るいときにも検知～周囲が暗いときだけ検知させるようにセンサーを調整できます。



点灯/点滅切替ツマミ

点灯モードと点滅モードの切替ができます。
電池の交換をおこなう場合には、ツマミを一番左側 OFFの位置にしてください。

付属品

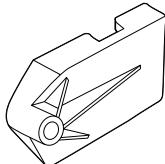
●取付ネジ(2本)



●コンクリート用
スリープ(2本)



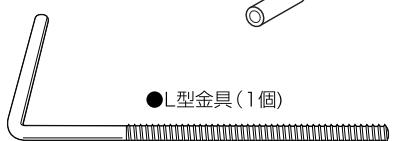
●クランプ台(1個)



●L型金具キャップ
(1個)



●L型金具(1個)



3 電池の入れ方

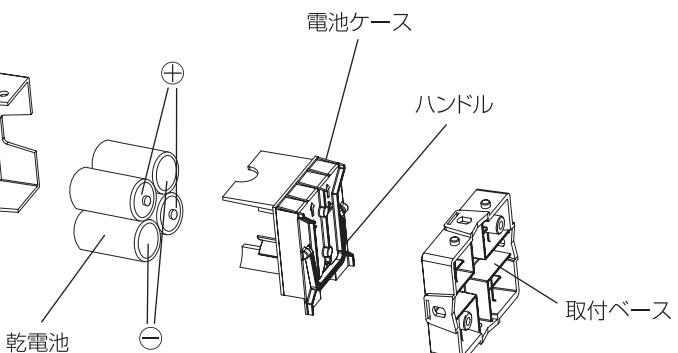
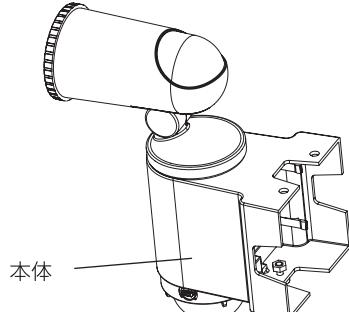
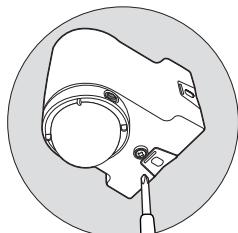
使用電池:単二形アルカリ乾電池×4本

※電池交換の際も同様の手順でおこないます

- ①「点灯/点滅切替ツマミ」をOFFにしてください。
- ②本体下部のビスを緩め、取付けベースを外します。

- ③電池ケースのハンドルを起こし引き出します。
- ④電池ケース内の \oplus/\ominus 表示を確認して、
単二形アルカリ乾電池を4本セットします。
- ⑤逆の手順で元通りに戻します。

本体下部



ウォームアップ(初期動作)について
電池を入れてから約30秒間はライトは点灯いたしません。
これは、センサーが安定するまでの初期動作で
故障ではありません。

4 取付け

取付け上のご注意

センサーライト本体は、必ず地面と水平に設置してください。
内部に水が入り故障の原因となります。



*センサーは周囲の明るさと温度変化を検知するので、図の場所に取付けると誤動作したり、動作しない場合があります。



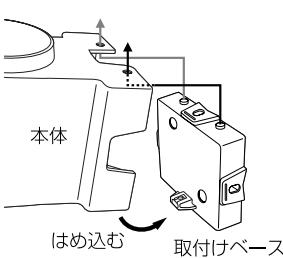
本体の取付方法 △ 万一落下しても事故の起こらない場所に取付けてください。

ネジで取付け

- ①本体下部のビスを緩め取付けベースを外し、付属のネジで壁に固定します。

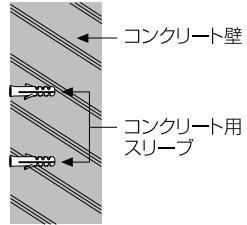


- ②図のように本体の凹部を取付けベースの凸部分に合わせて固定し、元通りにネジを締めます。

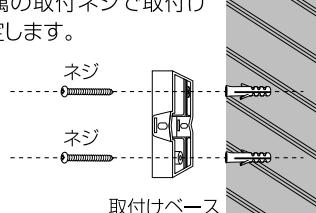


コンクリート壁への取付け

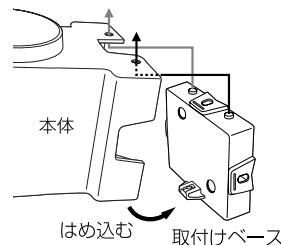
- ①コンクリートの取付ネジ位置にドリルで直径6mm、深さ30mmの穴を開けます。そこへ付属のコンクリート用スリーブを差し込み壁と表面を合わせます。



- ②本体下部のビスを緩め取付けベースを外し、コンクリート用スリーブに合わせて付属の取付ネジで取付けベースを固定します。



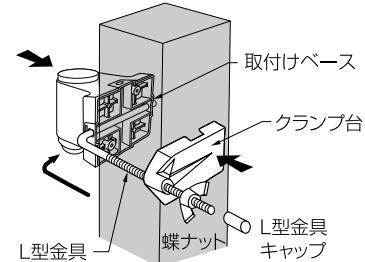
- ③図のように本体の凹部を取付けベースの凸部分に合わせて固定し、元通りにネジを締めます。



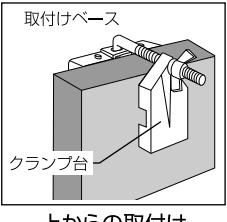
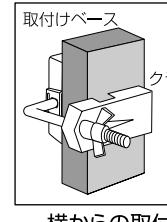
クランプでの取付け

- 最小約15mmから最大約100mm幅まで取付け可能**

- ①取付けベースのL型金具通し穴にL型金具を差込みます。
②L型金具にクランプ台を通し蝶ナットで締め付けます。
③L型金具の余った部分に付属のL型金具キャップをかぶせてください。



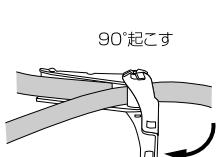
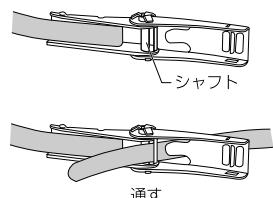
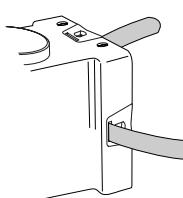
■クランプによる取付け例



別売ステンレスバンドによる取付け

(直径約260mmまで取付け可能)

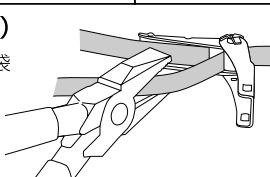
*ケガをする恐れがありますので作業用手袋を必ず着用してください。



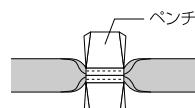
- ①取付けベースのステンレスバンド通し穴(上下または左右の2箇所)にステンレスバンドを通しておきます。

- ②バンドを取付箇所(ポールなど)に巻付け、先端をシャフトの間(シャフトは2枚構成)に通して、バンドにたるみのない程度に張ります。

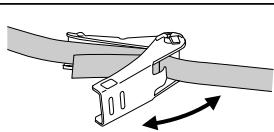
- ③バンドを適当に張り、ハンドルを90度起こして仮止めします。



- ④仮止めができたら、バンドの余長をシャフトから3cm程度のところで切断します。ベルト末端は外に出ません。



- *図のようにペンチでバンドを2つ折りにして左右に振ると、切断しやすくなります。



- ⑤ハンドルを反復回転させる(ラチェット機構などでバンドを巻取る)とベルトはゆるむことなく十分に締まります。

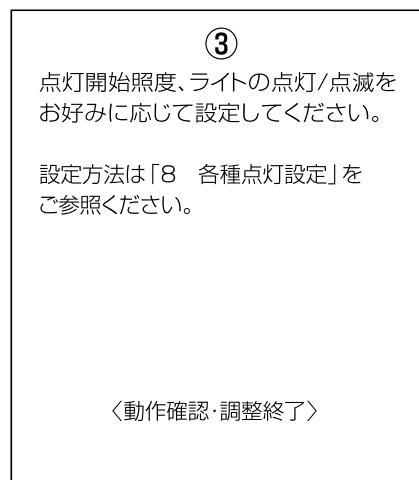
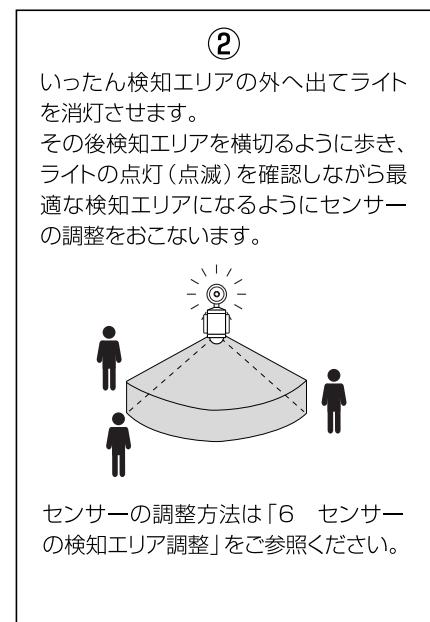
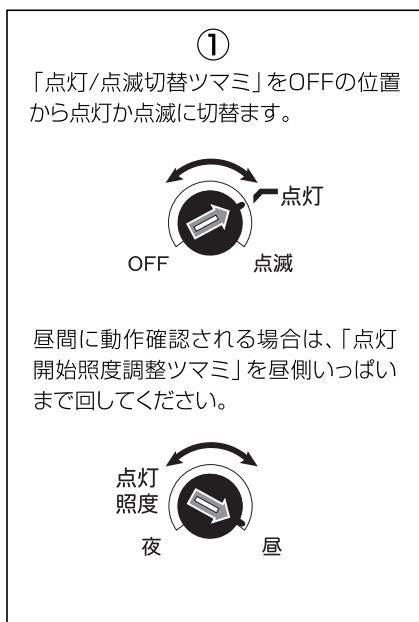


- ⑥バンドが十分に締まったところでハンドルをベースに重なるまで倒して、ストッパーにかしつけて完了です。

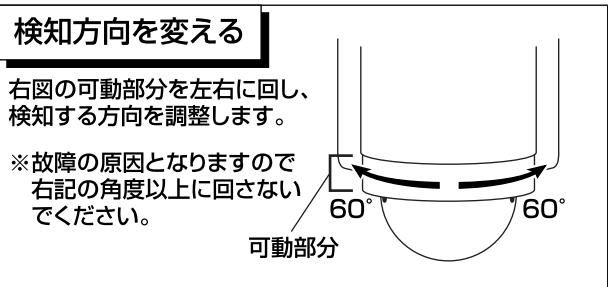
5 動作確認

取付け終了後、次の要領で動作確認をおこなってください。

動作確認の際は、取付ベースを装着し、本体下部のネジをしっかりと締めてからおこなってください。
※本体の構造上取付ベースを装着しないと点灯いたしません。



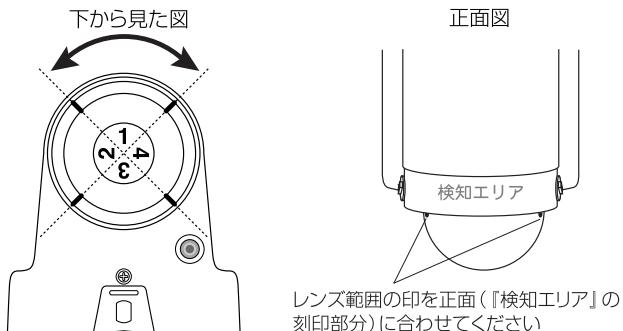
6 センサーの検知エリア調整



検知角度、距離を変える

レンズを回すだけで検知角度、距離の調整ができます。レンズ(乳白色のドーム状部分)の底部に下記のような彫刻があります。1から4のいずれかを正面に合わせることでお好みの検知エリアに設定できます。

※検知エリアは右図をご参考ください。

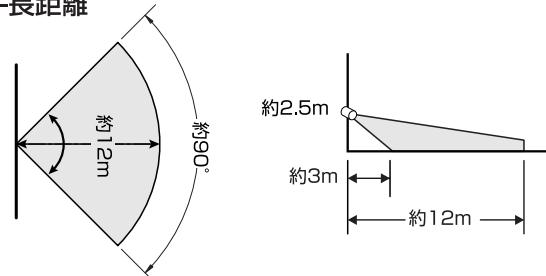


※検知エリアについて

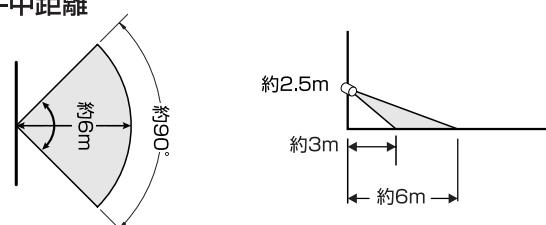
- 検知エリアは目安です。気温、服装、移動速度、侵入方向、体温、器具の取付け高さなどにより変化します。
- センサーは検知エリア内の温度変化を検知するため、人以外の熱源(動物・車など)が移動した際も検知します。
- 検知エリアの外側でも人より大きな熱源(車など)が移動した場合は検知することがあります。
- センサーに向かって正面方向から接近した場合は、検知距離が極端に短くなります。

検知エリア図

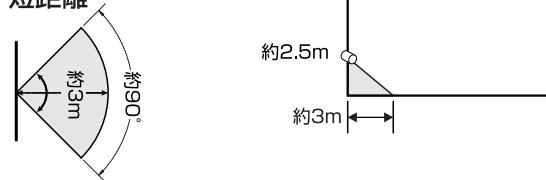
1 広角-長距離



2 広角-中距離



3 広角-短距離



4 狹角-長距離

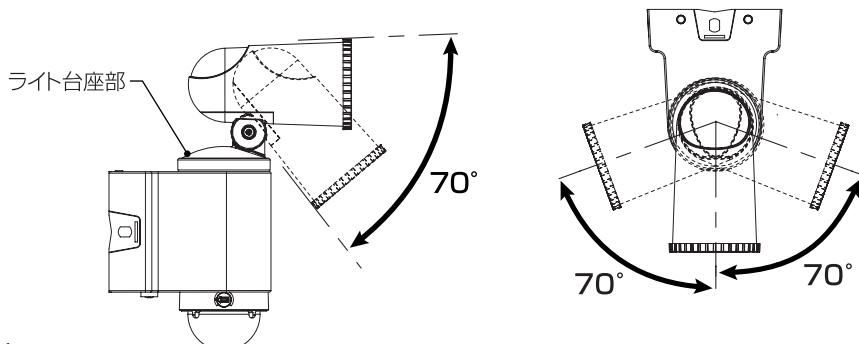


7 ライト部の角度調整

可動範囲

ライト部:約70°
ライト台座部:左右各70°

※故障の原因となりますので
右図の角度以上に回さない
でください。



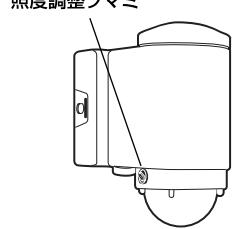
△ ライト部は壁から1cm以上離してください。

8 各種点灯設定

点灯開始照度の設定



点灯開始
照度調整ツマミ



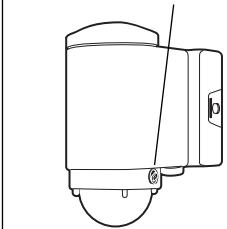
センサーが検知を開始する時間帯が設定できます。

夜(夜のみ検知)～昼(昼夜検知)を設定できます。
※出荷時は昼(昼夜検知)に設定されています。

ライトの点灯/点滅切替



点灯/点滅切替ツマミ



ライトの点灯/点滅が好みにより選択出来ます。

「点灯」…センサーが検知すると約10秒間ライトが
点灯します。
「点滅」…センサーが検知すると、約10秒間白色と赤色の
LEDが交互に点滅します。
※センサーの検知エリア内で人や動物が動き続けると、
センサーが検知し続け点灯(点滅)時間が延長されます。

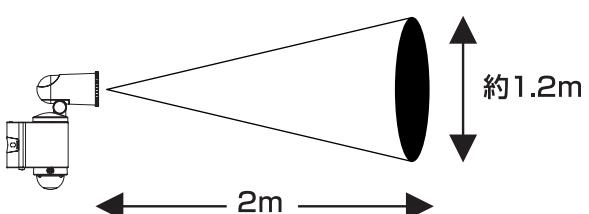
集光⇒散光の切替について

集光/散光切替レンズを回す事で
照射径を調節する事ができます。

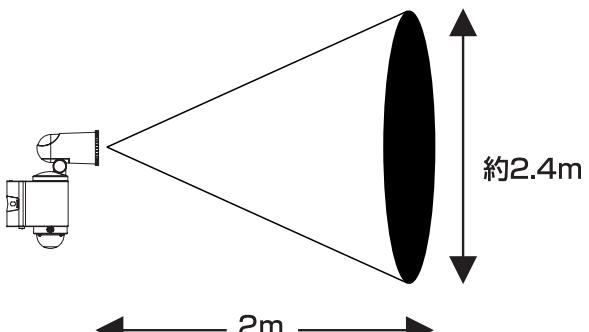
△ 故障の原因となりますので、調整幅以上に回さないでください。



集光 2m先の壁面で直径約1.2mの照射径



散光 2m先の壁面で直径約2.4mの照射径



※電池の消耗や性能により照射径が変わることがあります。

9 故障かなと思ったら

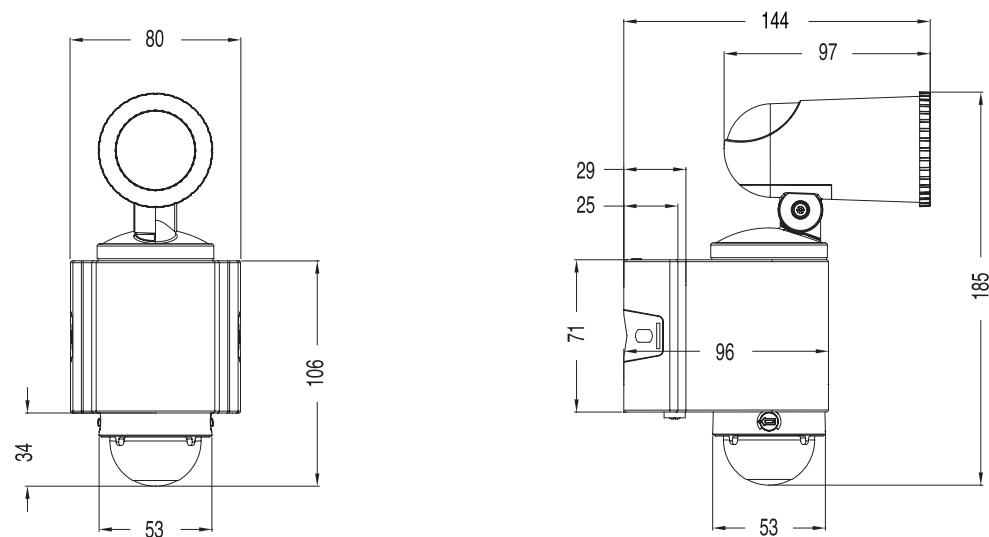
現象	考えられる原因	対応
電池を入れたのに点灯しない	本体に取付けベースが装着されていない 電池の接続方向が間違っている	本体に取付けベースを装着し、本体下部のネジをしっかりと締めてください 電池の $\oplus\ominus$ 方向を正しくセットしてください
検知エリアの中に人が入ったのに点灯しない	スイッチがOFFになっている 電池の電圧が低下している 設定された点灯開始照度よりも周囲が明るい 検知エリアの設定が適切でない センサー部に向かって直進している 寒いときや雨降りの時で人がマフラーや傘などで覆われている 夏場など周囲の温度と人体の温度が近くなり、温度差が無い 非常にゆっくりとした速度で検知エリアに侵入した 検知エリアが遮られている	点灯/点滅切替ツマミをOFF以外の位置へ切替えてください 乾電池を交換してください ※電池寿命は1日に10回点灯させて約1年です 点灯開始照度を「昼」側に調整してください 取付け場所を変更するか、検知エリアの調整をやり直してください センサーは人の動きによる温度変化を検知するため左記の場合などは検知にくくなることがあります センサーの前に壁やガラスがあると、人の動きを検知できません 検知範囲の調整、もしくは取付け場所の変更をしてください
検知エリアの中に人がいないのに点灯する(消灯しない)	検知エリア内、または周囲に次の誤動作をする要因がある (例)他の照明器具、植木、洗濯物、犬や猫、エアコンの吹き出しが、ガス給湯器、強い無線ノイズ 検知エリアが道路にかかるており、通行する自動車や人に反応している	誤動作要因となっているものを検知エリア内から取り除くか、再度検知エリアの調整をしてください
昼なのに点灯してしまう	点灯開始照度が「昼」側になっている	点灯開始照度を「夜」側に調整してください
夜なのに点灯しない	センサーライトの周囲が明るい	取付け位置を変更するか、点灯開始照度を「昼」側に調整してください
検知エリアの中に人がいるのに消灯する	人が静止している	静止している人は検知できません
点灯回数が少なくなった	電池の電圧が低下している	乾電池を交換してください ※電池寿命は1日に10回点灯させて約1年です

10 仕様

検知方式	赤外線受動式
使用電池	単二形アルカリ乾電池×4本
電池寿命	1日に10回点灯させた場合で約1年 ※乾電池の性能・使用条件により大幅に変わることがございます。
光源	1Wタイプ高輝度白色LED(寿命約5万時間) ※点滅用として赤色LEDを有する
点灯(点滅)保持時間	約10秒(固定)
耐水性能	IP44/直接雨のかかる屋外で使用可能
使用周囲温度範囲	-20°C~55°C
本体材質	PC(ポリカーボネート)、ABS
重量	約280g(電池含まず)

◆仕様は改良のため、予告なく変更する場合があります。

11 外形寸法図



単位:mm